

令和6年度 部別予算見積方針・要求一覧表（一般会計：枠配分対象経費）

様式0-1

部名 **福祉保険部**

当初予算編成に係る方針

これまで社会保障制度は、高齢者、障がい者、子どもなど分野ごとに、公的支援の整備と拡充が図られてきた。加速する少子高齢化や核家族化、価値観の多様化、生活不安の増大などを背景に、地域社会へのつながりや、地域に対する関心の希薄化による福祉分野における、多様化・複雑化する生活課題への対応・取り組みが必要となっている。福祉保険部では、福祉制度を適切に運用すると共に、社会的支援を必要とする人を始め、誰もがお互いに支えあいながら、人と人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、暮らしていくことができる社会の実現を目指すと共に、包括的な支援の仕組みづくりを行い、地域をともに創る地域共生社会の視点も盛り込み、施策や事業を進めていく。各取組の推進に当たっては、庁内横断的な連携や各分野の関係団体や機関等との連携のもと、第3次地域福祉計画の基本理念「『お互いさま』の心でつながる、参加と支えあいのまち 近江八幡」に基づき効率的・効果的な事業推進と将来にわたって持続可能な施策の充実に努める。

1. 多分野・多機関が協働した包括的相談支援体制の整備と関係機関との連携強化 2. 高齢者や障がい者など誰もが安心して地域で暮らし続けることのできる支援体制の充実
3. 多様な主体の参加と協働による地域づくりの推進 4. 地域福祉計画をはじめ、各種計画の事業推進と改定

予算見積要求一覧

(単位:千円)

課名等	当初2次 歳出 予算見積額 総額 A	内ふるさと応援 基金特別枠 B	当初2次 歳入 予算見積額 総額 C	内ふるさと応援基金特別枠		内ふるさと応援 基金(枠配分) 充当額 F	当初2次 枠配分 一般財源 G:(A-B)-(C-D-E)
				その他特財 D	ふるさと応援 基金充当額 E:B-D		
福祉政策課	287,822	56,124	143,964	0	56,124	0	143,858
長寿福祉課	172,217	0	125,476	0	0	5,896	46,741
障がい福祉課	262,339	0	106,222	0	0	0	156,117
介護保険課	990,853	0	46,229	0	0	0	944,624
保険年金課	2,414,823	0	819,694	0	0	0	1,595,129
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
合計	4,128,054	56,124	1,241,585	0	56,124	5,896	2,886,469

① ②

部配分ふるさと応援基金(枠配分)財源額	H	7,000
---------------------	---	-------

③

部配分一般財源額	I	2,770,198
----------	---	-----------

+

部配分一般財源額(部間調整後)	I+J	2,770,198
-----------------	-----	-----------

④

調整先部名・調整内容		J	部間調整額
部間調整			

枠配分一般財源額を超過(②>④)

ふるさと応援基金新規・拡充特別枠対象事業

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	事業概要
福祉政策課	福祉相談支援システム開発・導入	56,124	福祉分野の相談内容を共通システムで共有し、分野の異なる所属が連携し包括的支援体制を行う。

予算見積における部の主要事業(当初1次基金対応事業を除く)

(単位:千円)

課名等	事業名	歳出要求額	一般財源	事業概要
障がい福祉課	意思疎通支援事業	10,688	6,371	手話等による意思疎通と情報提供の保障。
長寿福祉課	高齢者生活支援事業	800	0	高齢者補聴器購入費用の助成。

枠配分達成に向けた、歳入確保・歳出削減に対する主要な取り組み

(単位:千円)

課名等	事業名	区分	歳入確保額 歳出削減額	取り組み内容(増減要因)
福祉政策課	生活困窮者自立支援事業	歳出	65	相談員養成研修参加をオンライン参加とする。
長寿福祉課	高齢者生活支援事業	歳入	800	福祉基金を活用。

特記事項: